



気温の寒暖差が大きいので、かぜをひく児童が増えてきています。朝来る前に、おうちでも顔色や熱に注意してあげてください。また、食欲の秋です。ついつい食べ過ぎてしまい、おなかをこわしてしまうこともあるので、しっかりかみながら、ゆっくりと食べて適度な量を食べるようにしましょう。

風邪予防のために

寒くなるにつれて増えてくるのが「かぜ・インフルエンザ」です。

かからないようにするために大切なこと、それは、毎日の習慣です。

- 外から帰ったらうがい・手洗いをする。
- 好ききらいせず、一日3食をしっかりとる。
- 早寝早起きをする。
- てきどな運動をする。
- 部屋の空気をこまめに入れ替える。

それでも、かかったときは、ゆっくり体を休めるようにしましょう。

おうちの方へ

インフルエンザは出席停止の扱いです。登校に際しては、登校許可意見書が必要です。よろしくお祈りします。

11月8日は「いい歯の日」

1993年に日本歯科医師会によって、11月8日が「いい歯の日」と定められました。この機会にもう一度歯の健康について考えてみましょう。



喫煙防止教育 5年



学校薬剤師の倉本先生が5年生に喫煙防止教育を行ってくれました。導入がドラえもんのみんで、子どもたちはわくわくしながら、なぜたばこを吸うことが危険なのか教えてもらいました。世界では、大人の真似をして幼い子どもがたばこを吸ってしまっている現状やたばこを吸うことによって体だけでなく、心の健康を損なうことを話してくれました。

三大有害物質 ニコチン（依存性がある）・一酸化炭素（酸素欠乏）・タール（発がん性）だけは、絶対に覚えてほしいと、そして、女性の喫煙者が増加しているが、妊婦が吸うことで胎児に大きな影響があること、これから赤ちゃんを産むみんなに知ってもらいたいと話してくださいました。子どもたちも感想に先生へのお礼の言葉や身近な大人がたばこを吸っていることを心配した言葉や大人になっても吸わないと決意した言葉などを書いていました。



目のアンケート

保健給食委員会からの話

10月10日の目の愛護デーにちなんで保健給食委員会で目のアンケートをしました。その結果ゲームやテレビを見すぎている人が多いことがわかりました。そこで目の大切さについて各学年に話をしました。目は一生使う大切なものであり、変えることができないことや大切に使うためにどんなことに注意したらよいか勉強しました。裏面参照→



低学年には、紙芝居を読みました。

高学年には、目について話をしました。



～アタマジラミについて～

アタマジラミは、季節に関係なく1年中見つかります。学校でも、アタマジラミが見つかって、お家で駆除した児童もいます。今一度、お子さんの頭の状態をチェックしていただけないでしょうか？

うつるのではないかと心配されている方もあると思いますが、これをとめる方法はいまのところありません。**おうちの方、ひとりひとりのご協力が必要です。**アタマジラミは、不潔とは関係なく、誰でも感染する可能性があります。万一、シラミがいると分かったとしても、その子が原因ということは絶対にありません。その子どもどこかでうつってきたものだからです。

学校の方でも見つけたら連絡させていただくこともあります。何かありましたら、連絡ください。よろしくお祈りします。



モアレ検査

(脊柱そくわん検査)

背骨の異常を早く見つけるため、5年生を対象にモアレ検査が行われます。

検査日：11月4日（火）

9：00～ 体操服

5年生には、別紙でお便りも出します。おうちの方でもお子さんの姿勢について気をつけてみてあげてください。

よろしくお祈りします。